

北陸支部便り－支部総会の盛会を夢見て－

北陸支部 支部長 横山 雅則（旧姓；矢野 昭 49・化学）

北陸支部は2012年12月2日設立総会を開催以来、今年で第8回を迎え支部会員数84名（富山県37名、石川県31名、福井県16名）で初代支部長・熊井靖祐氏（S42・化学）から昨年引継ぎを受けた。何とか閑散とした支部総会を避けたいというのが全国の支部長共通の課題だと思う。全国16支部中、休会中の関西支部を除いた2018年度の支部総会を集計すると会員数2,763名、出席者108名(3.9%)、委任状447通(16.2%)と支部の活動に関心を示している会員は20%と数字上は判断できる。北陸支部は34.5%と全国平均より上とはいえ盛会とは言えたものではない。

まずは支部総会への参加者を増やすためには何が必要だろうか？ それではと今年は総会とレジャーをくっつけて、越中八尾観光会館を会場として、「支部総会（講義室）」、「昼食をしながらの懇親会」と「おわら風の盆ステージの観賞」を行った。終了後、集合写真撮影し各自の好みで同一建物内の曳山展示館の観覧や街中を散策した。



「おわら風の盆ステージ」

しかし、10月12日（土）に予定していた支部総会が台風19号の影響を受け10月26日（土）に延期せざるを得なかったこともあるが、今までより更に参加者は減少した。支部会員6名に本部から進藤洋一理事、群馬県支部長の深澤恵子さんの2名の来賓を迎えた8名と寂しい出席数となった。救いは尾重和代（S53・化学）さんが初参加してくれたことである。設立総会は支部会員20名の参加があった。この20名を超えるよう種々の知恵を出し合っ支部会員の皆様に参加してみたいなあって思われる企画を打ち出していくのが、支部役員としての務めだと考え行動に移していく所存である。

